

デュアルネットワーク
インターフェース

はじめに

ソニー HD ビジュアルコミュニケーションシステム PCS-XA80/XG80 は 2 つの物理的ネットワークインターフェースを備えています。本ドキュメントはこのデュアルネットワーク機能について解説します。

デュアルネットワークインターフェースとは

デュアルネットワークインターフェースの利点

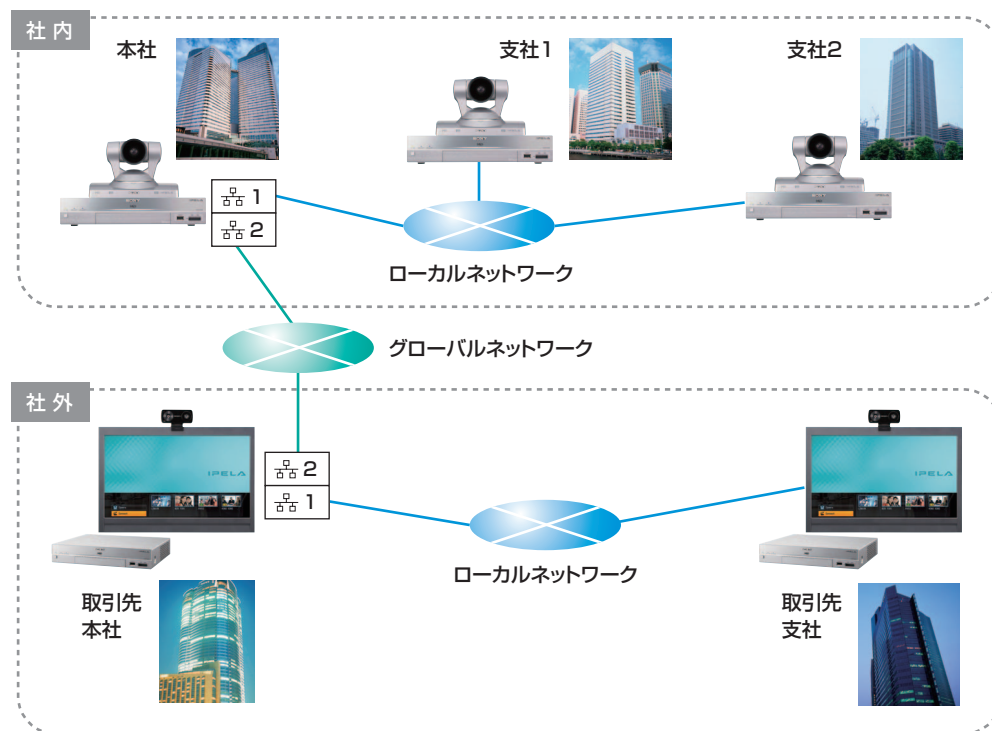
2つのネットワークインターフェースを装備することにより、以下のような利点があります。

- ・ローカルネットワーク（LAN）間の接続と、インターネットを経由したグローバルネットワーク（WAN）間の接続が、ケーブルの抜き差し、設定変更を行うことなしに可能となる
- ・ローカルネットワーク側の端末とグローバルネットワーク側の端末をブリッジすることで、ローカルネットワーク、グローバルネットワーク混在の多地点会議が行える^{*1}
（図1：多地点接続例）

- ・ローカルネットワーク側端末とグローバルネットワーク側端末をシームレスに接続するソリューションとして、本機能の他に H.460 ファイアウォール・トラバーサル機能も備えているが、H.460 と比較してトラバーサルサーバーの設置やファイアウォールの設定変更などが不要で、簡易にローカルネットワーク、グローバルネットワーク混在の接続が実現できる

^{*1} HD 多地点接続用ソフトウェア PCSA-MCG80 (別売) が必要です。

図1：多地点接続例（カスケード接続）



制限事項

以下のときには、デュアルネットワーク機能を使用できません。

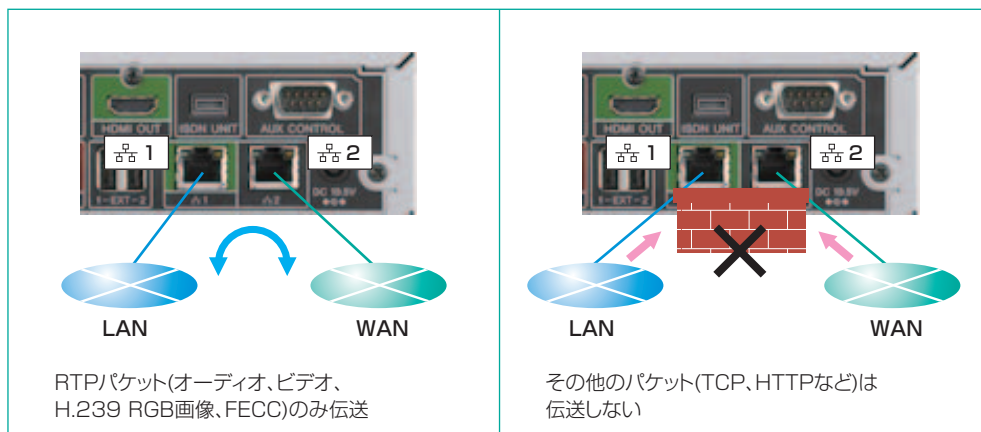
- ・H.460 ファイアウォール・トラバーサルが有効になっているとき
- ・IPv6 を使用しているとき

ネットワークセキュリティについて

インターフェース間のデータ伝送

ポート 1 (以下、LAN ポート 1) ポート 2 (以下、LAN ポート 2) の間はビデオ会議の RTP パケット (オーディオ、ビデオ、H.239 RGB 画像、FECC) のみが伝送され、その他のパケットは伝送されません (図 2)。

図2



尚、第三者機関による脆弱性有無の検証を行った結果、深刻な脆弱性は発見されませんでした。検証内容の詳細は、取扱店にお尋ねください。

設置・設定に関する重要な情報

- デュアルネットワーク機能を使用する場合には、LAN ポート 1 をローカルネットワーク側、LAN ポート 2 をグローバルネットワーク側に設置・設定してください (図 3)。これは LAN ポート 1 のみが PCS-XA80/XG80 に対する外部アクセス (Telnet、SSH、Web アクセス) の機能を有しているからです。また、同時に管理者設定メニューでリモートアクセス・パスワードを設定してください (図 4)。

図3

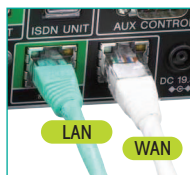
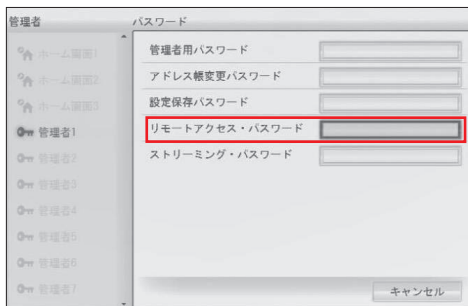
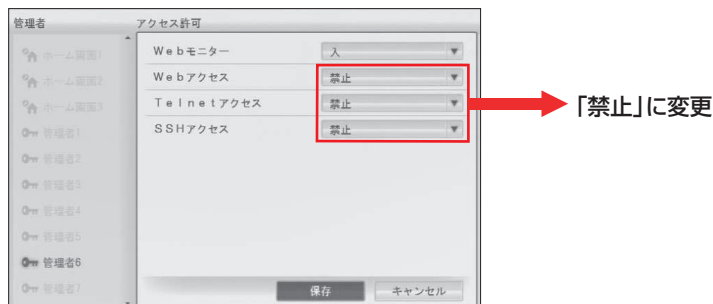


図4



- ・何らかの理由により、デュアルネットワーク機能を使用し、かつ LAN ポート 1 をグローバルネットワーク側に設定する場合には、管理者設定メニューによる外部アクセス (Telnet、SSH、Web アクセス) の設定をすべて禁止してください(図 5)。

図5



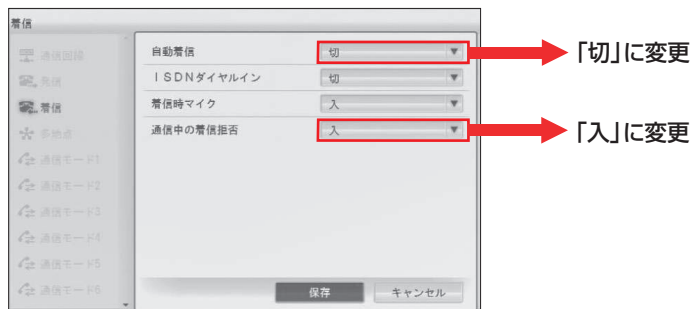
- ・会議中に、グローバルネットワーク側から間違えて接続されることを防止するために、着信設定メニューにて下記の設定を行うことをお勧めします(図 6)。

「自動着信」を「切」にする(初期設定: 入)

「通信中の着信拒否」を「入」にする(初期設定: 切)*2

*2 HD 多地点接続用ソフトウェア PCSA-MCG80 (別売) がインストールされている端末のみ設定できます。

図6



以上のようにデュアルネットワーク機能を使えば、例えば社内会議の後に社外に接続する場合でも、ケーブルの抜き差しや設定変更を行う煩わしさから解放されます。また社内と社外の混在の会議も、セキュリティーを確保しながら通常の接続と同じ手順で行えるため、シンプルな運用を可能にします。

・IPELA は、ソニー株式会社の登録商標です。
 ・本文中の PCS-XG80 は、PCS-XG80 および PCS-XG80S の総称です。

SONY